

Tahara

田原市ホームページ <http://www.city.tahara.aichi.jp>

2013
平成25年

4.15

サクラの花びら ひらりひらり！

目次

「しみの広場」	2
広報サポーターの活動紹介	
「たね、の簡単&おいしい」産直レシピ	
地域の話	
市民活動を応援するページ	
スクールリポート	6
学校生活の一コマを紹介	
たはらシティニュース	7
連載コーナー	8
おしらせ	10
歴史探訪クラブ	12



しみんの広場

CITIZEN'S PLAZA

もくじ

- 広報サポーター活動紹介……………2ページ
- たねの簡単&おいつ『産直レシピ』……………3ページ
- 地域の話（中山校区）……………4ページ
- 市民活動を応援するページ……………5ページ

市民目線で楽しく情報発信！

市民発！ 広報サポーターの活動を紹介します

広報サポーターは、市民の方に市の広報活動に参加していただくこと、平成20年度から毎年公募し、さまざまな分野でご活躍いただいています。今回は、平成24年度広報サポーターの活動をご紹介します。



広報サポーターとして、平成24年度は6名の方が活動しました。活動内容は、市民記者やCATV市政情報番組ナビゲーター、レシピ作成、ブログ、Twitterの運営などです。

なかでも、広報サポーター5名で運営する**広報サポーターブログ「風の街のたはら」**は、ブログによる情報発信として、平成24年度愛知県広報コンクール（市民目線）の広報企画部門で奨励賞を受賞しました。市民目線で伝える田原の魅力を、広報サポーターの個性が際立つ文章で紹介していることなどが、読者からは好評を得ています。今回の受賞は、市民活動や地域の話題を中心に掲載している「広報たはら15日号」との連動した情報発信（メディアミックス）が評価されたものです。

※平成25年度田原市広報サポーターを募集しています。お気軽に、広報秘書課までお問い合わせください。



● 広報サポーターブログ



● CATVナビゲーターの収録の様子



● 広報サポーターが取材の様子

☑ 広報サポーター募集

「広報たはら」の紙面づくりやCATVへの出演、インターネットを使った情報発信など、市の広報活動に参加してみませんか？

応募資格 ● 市内在住の18歳以上の方

※公務員や公職にある方、高校生を除く。

活動内容 ● 次の中から希望するもの

① 市民記者（取材・記事作成）

② インターネット（ブログ、Twitter など）を活用した情報発信

③ CATV市政情報番組ナビゲーター

④ イベント・風景などの撮影

※その他の活動も可能。ご提案ください。

募集人員 ● 7名以内

募集期間 ● 5月2日（金）まで（必着）

応募方法 ● 応募用紙に「氏名」「性別」「生年月日」「住所」「連絡先」「職業」「応募動機・抱負（100文字以内）」「参加したい広報活動」を記入のうえ、直接持参または郵送・FAX・Eメールにて

※応募用紙は広報秘書課で配布のほか、市ホームページからもダウンロードできます。（任意の用紙でも可）

選考方法 ● 意欲などを考慮して、市の選考により決定

発表 ● 応募者に通知のほか、広報にも掲載

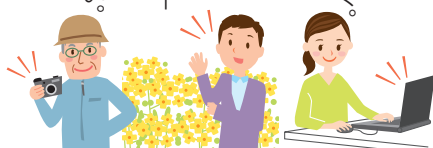
活動期間 ● 平成26年3月末まで 謝礼 ● 年1万円

▼ 広報秘書課 〒441-3492（住所不要）

☎ 22局 0138（FAX）23局 1601

✉ koho@city.tahara.aichi.jp

🌐 <http://www.city.tahara.aichi.jp/>





090-3480-3748 (チケット専用)

▼三河市民オペラ制作委員会事務局

3000円全席指定

▼チケットSS席1万2000円／S席1万円／特A席8000円／A席6000円／B席

▼日時11午後2時開演(午後1時開場) ▼場所11

アイプラザ豊橋大ホール ▼内容11国内一線級の

プロと三河地域の市民が一体となって作り上げる

プッチーニの最高傑作オペラ「トゥーランドット」

●三河市民オペラ「トゥーランドット」

5月5日・6日祝

さい。

観客の感動だけでなく、出演者やボランティアな

ど、参画したすべての人の心を動かし、喜びを分

かち合える舞台を目指しています。ぜひご覧ください。

三河市民オペラとは、三河地区の市民が企画段

階から制作に関わり、運営・上演するオペラです。

三河市民オペラ2013公演
「トゥーランドット」



「たね」の簡単&おいしい『産直レシピ』

平成24年度広報サポーターの「たね」が「旬を上手に、手軽でおいしく、誰にでも簡単にできる料理」をテーマに、今回は「イチゴ」を使ったレシピをお届けします。

イチゴソースのブラマンジェ

【材料5個分】

イチゴソース ●イチゴ 1/2パック

●砂糖 大さじ2 (イチゴの甘みによって調節)

ブラマンジェ

●コーンスターチ 大さじ4 ●砂糖 大さじ4

●牛乳 500cc (生クリームがあれば分量の50ccを生クリームにすると、ぜいたくな味に！)

【作り方】

- 1 イチゴは食べやすい大きさに刻んでおく。
- 2 刻んだイチゴに砂糖をかけて混ぜ合わせ、2～3時間冷蔵庫で冷やしておく。
- 3 鍋にコーンスターチ・砂糖を入れて良く混ぜ、牛乳を入れてよく混ぜ合わせる。
- 4 鍋を弱火にかけ、ヘラでなべ底からゆっくり焦げ付かないようにかき混ぜる。
- 5 とろみがつき、全体に沸騰してきたら火からおろし、手早く容器に入れる。
- 6 ブラマンジェの荒熱が取れたら、冷蔵庫で寝かせていたイチゴソースをかけて出来上がり。



ブラマンジェとは、白い食べ物という意味です。コーンスターチで作るので簡単に失敗なく出来ます。生のイチゴに砂糖をかけてフレッシュソースを作り、食感や味も活かすことができるデザートです。今回はイチゴを使用していますが、キウイフルーツやかんきつ類でも楽しめます。



▲保護者と一緒に丁寧に松の苗木を植樹する園児たち



▲中山校区内の現在の保安林の様子

地域の話

中山校区

美しい松林を取り戻したい

住民の地域参加の輪を広げようと

苗木の植樹など保安林の維持に取り組んでいる

中山校区コミュニティ協議会からお便りが届きました。



中

山校区は、夕映えの美しい西ノ浜、海岸に沿って畑と人々を守る防風林、広大な農地などが織りなす豊かな自然に囲まれた地域です。

まちづくりの課題

校区内の沿岸部には、飛砂防備保安林^{※1}と、農地区域の防風保安林^{※2}に指定された「松林」が広がっています。しかし、近年は松枯れがひどく、危機的な状況となつていくことから、校区まちづくり推進計画に課題として取り上げ、その対策を主要施策に位置付けています。

※1【飛砂防備保安林】砂浜から飛んでくる砂を防ぎ、隣接する田畑や住宅を守る林

※2【農地区域の防風保安林】強い風の地域で、田畑や住宅を守る役割を果たし、風の被害を防ぐ林

美しい松林を守るために

毎年、市の協力で薬剤の空中散布や樹幹への注入、枯れ松伐倒駆除を行っていますが、予想以上に進行が早いため、その対策が追いついていないのが現状です。

コミュニティ協議会では、保安林を維持するため、毎年のように松の苗木の植樹を行っています。この取り組みは、これまで、中山・小中山開拓組合の役員を中心に実施してきましたが、今回、初めての試みとして、卒業・卒園を迎えた地区の小学生27名と保育園児24名が参加し、2月9日（土）に「卒業記念植樹」を行いました。

小学生は、この日のために手製の木札を制作し、また、保育園児は保護者と一緒に苗木の植樹をしました。

地域発

子どもたちの成長とともに

参加者らは、松の苗木が枯れることなく、大きく、まっすぐに育つてほしいと願いながら、一本一本心を込めて植えていました。



▲慎重に木札を作る小学生

今回の取り組みを通して、子どもやその保護者の方々に、保安林の現状を見ていただいたことで、校区の現状と課題を認識してもらうことができました。日ごろは、「地域活動」や「まちづくり」というと、地域の役員さん任せになりがちですが、今回のように地域行事に参加することで、「自分にもできることがあるんだ」ということに気づいていただくことができましたと実感しています。

今後は、植樹した保安林周辺の清掃活動や散水なども含め、子どもから大人まで、校区の誰もが楽しく参加できるような事業にしたいと考えています。そして、この事業が校区の恒例行事に育つとともに、松の苗木のように、子どもたちの地域への愛着が、すくすくと元気に育ってくれることを願っています。



市民活動を応援するページ.....



市民活動支援情報

市民活動向上事業補助金

◆市民活動団体の連携力アップ、人材育成が期待される事業を募集します

市民活動団体は、「協働によるまちづくり」の重要な担い手です。団体のスキルアップや人材育成、団体間の連携強化を目的とした事業に「市民活動向上事業補助金」をご活用ください。市内の市民活動の活性化を図るため、市民感覚の創意工夫を凝らした事業を募集します。

対象事業 市内の市民活動の活性化につながる、団体のスキルアップ・人材育成・連携強化を目的とする活動（市民活動経験者がおおむね30名以上参加することが見込まれる活動）で、平成26年2月末日までに完了するもの

対象団体 市内で公益活動を行う5名以上で構成された団体、またはそれらの連携組織

補助金額 1事業につき補助対象経費の2分の1（上限20万円）※予算の範囲内

募集期間 4月15日（月）～5月20日（月）※午後5時必着

審査方法 書類審査、市役所担当課へのプレゼンテーション審査

申請先 市民協働課 ☎23局 3504

その他 制度の概要、申請書の書き方など応募に関する相談は、市民活動支援センター（開設日は頁下段）で随時対応しますので、お気軽にご相談ください。また、応募の手引き・申請様式などは、田原市ホームページからもダウンロード可（<http://www.city.tahara.aichi.jp/>）



提案事業募集

「田原市婚活支援事業」の提案を募集します

少子化の要因の一つである未婚化・晩婚化に対する取り組みとして、市民などが企画・提案する結婚のきっかけとなる出会いの機会を、積極的に提供することを目的に「婚活支援事業補助金制度」をスタートします。

気軽に参加できるお手軽な婚活・出会いを目的とする事業をご提案ください。

●**対象事業** 20歳以上の独身者が出会うための交流イベント（パーティー、食事会、体験活動、婚活スキルアップ講座）など

◆参加者が20名以上となる事業

◆営利を目的としない事業

◆参加料を徴収する場合、適正な水準の設定をしている事業 など

●**対象団体** 市内の5名以上で構成された団体

●**補助額** ◆事業費（対象経費）が5万円以下の場合…全額補助

◆事業費（対象経費）が5万円を超える場合…5万円

●**募集期間** 平成26年2月末日まで ※予算の範囲内

●**申請方法** 地域福祉課で配布する申請用紙に、必要事項を記入して直接提出

※申請用紙は、田原市ホームページからもダウンロード可（<http://www.city.tahara.aichi.jp/>）

●**審査方法** 書類審査

●**その他** 制度の概要、申請書の書き方については、地域福祉課で随時対応します。お気軽にご相談ください。



応募・お問い合わせ

▶地域福祉課 ☎23局 3512 ☎23局 3545 ✉fukushi@city.tahara.aichi.jp

田原市民活動支援センター

<http://www.city.tahara.aichi.jp/kyoudou/>

❶ NPOや市民活動に関する相談を受け付けています。（毎週 木・金・土 14:00～19:00 田原文化会館フリースペース）

❷ このページおよび市民活動支援センターホームページに掲載する市民活動情報を募集しています。

●お問い合わせ：☎22局 1111（内線812）※開設時間のみ ☎23局 0180 ✉shiminkatsudo@city.tahara.aichi.jp



スクールレポート

SCHOOL REPORT 57

学校生活の
一コマを紹介

今回は、中学校での「飛散防止フィルムの貼付」と「ボランティア活動」の様子をご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局 3679

田原中学校「飛散防止フィルムの貼付」

自分たちで貼り、防災意識を高める！

田原中学校では、大地震が発生したとき、窓ガラスが飛び散るのを防ぐ「飛散防止フィルム」を、平成24年12月から生徒と職員で校舎の窓ガラスに貼ることにしました。

生徒たちは、まずフィルムを切る作業を行いました。さまざまなサイズの窓ガラスに合わせて切るのは根気のいる作業で、思った以上に時間がかかりました。次に、フィルムを窓ガラスに貼り付ける作業を始めました。初めての体験なので、うまくできるか心配していましたが、すぐに要領をつかんできれいに貼ることができました。これからも、掃除の時間などを使って徐々に作業を進め、平成25年度中には全部貼り終えたいと思っています。

地震防災で重要なことは、「自分の問題としてとらえ、行動すること」であるといわれています。この活動を通して、生徒たちの防災意識と実践力が高まっていくことを願っています。



●飛散防止フィルムを切る作業



●飛散防止フィルムを貼る作業



●みんなで協力した海岸清掃

福江中学校「ドリームの会」

地域交流を深めるボランティア活動！

福江中学校には、ボランティアクラブ・ドリームの会があり、全校生徒の約半数が会員となり活動しています。ドリームの会は、校区にある老人介護施設「渥美福寿園」「花の里」や地元の市民館、NPO団体と連携を図りながら、ボランティア活動を行っています。

「渥美福寿園」「花の里」では施設の清掃やお年寄りの方々との交流を、NPO団体のひとつである「環境ボランティアサークル亀の子隊」では、毎月行われる海岸清掃に参加しています。また、市民館が主催する市民館祭りでは模擬店のお手伝いなどを行っています。夏休みには、講師を招いて研修会を行ったり、「福祉のつどい」で販売する小物を作ったりもしています。

ドリームの会に参加する生徒たちは、休日の空き時間を上手に使うって自主的に活動しています。ボランティア活動を通して、地域との交流を深めながら福祉の心を育んでいます。





▲法被姿で防火を呼びかける福江保育園の園児たち(国道259号沿い)



▲誓いの言葉を述べる河合優奈さん

3月8日[金]

「火の用心」で
みんなの安全を

春季火災予防運動の一環として、中山・高松・漆田・第一・赤羽根・福江保育園で防火パレードが行われました。参加した計357名の園児たちは、音楽に合わせて拍子木を打ち鳴らしながら、地域住民や沿道を通行する方に、「火の用心」を呼びかけました。

4月2日[火]

介護のプロへの
道がスタート

田原福祉専門学校入学式が行われ、38名が入学しました。地域の行事への参加や手作りの学園祭の開催などで、市民の皆さんと接する機会も多い学生の皆さん。おだやかな環境の中、2年間で介護福祉士の国家資格取得を目指します。

頑張れ！ 田原っこ

全国大会などに出場を決めた皆さんをご紹介します。皆さんの活躍に期待します！

◆都道府県対抗ジュニアバスケットボール大会
(東京都、千葉県ほか「3/28～30」)



富田一成くん
(田原中2年)

◆都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会
(三重県伊勢市「3/26～28」)



佐藤宏美さん
(田原中2年)

広がる未来へ

たはらエコ・ガーデンシティ構想

●家庭に太陽光発電がある方は 停電・災害時でも電力を使えます

災害により長期間停電になった場合でも、太陽光発電システムに備わっている自立運転機能を活用することで、電力を使うことができます。太陽光発電システムを設置されている方は、平常時に使い方を確認しておきましょう。

※約88%の機種に自立運転機能が備えられています（社団法人日本電機工業会調べ）。

自立運転機能の使い方



- 1 自立運転コンセントがどこにあるのか確認し、取扱説明書を読む
- 2 主電源ブレーカーをOFFにする
- 3 太陽光発電ブレーカーをOFFにする
- 4 自立運転モードに切り替える
- 5 接続機器を自立コンセントにつなぐ
- 6 必ず元に戻す。自立運転モード解除↓太陽光発電ブレーカーON↓主電源ブレーカーONの順で復帰

◆自立運転機能使用時の注意

- メーカーや機種により、操作方法が異なります。必ず付属の取扱説明書を確認してください。
- 自立運転コンセントの容量は1500W（1.5kW）です。接続機器の容量を確認してください。
- 雨天・曇天時は出力が低下します。電源が切れると故障する可能性のある機器は接続を避けてください。

再生可能エネルギーのなかでも、個人で導入しやすい太陽光発電システム。市



では、太陽光発電システムの設置に対し、補助を行っています。概要は、広報たはら4月1日号のおしらせ17頁、または市ホームページをご覧ください。※詳しくはお問い合わせください。

● たはらエコチャレンジ宣言登録者数個人2133人・事業所81か所（3月末現在）

▼ エコエネ推進課

☎ 23局 7401 FAX 23局 0180

HP <http://www.city.tahara.aichi.jp/>

環境戦隊たはらエコレンジャー 環境けいじばん⑪



ごみの減量化・資源化の一環として、5月からエコキャップ運動を開始します。今回は、リサイクル活動を通じて、地球環境と世界の子どもたちを救うことを目的とした取り組みについてご紹介いたします。



●エコキャップ運動とは

ペットボトルのキャップを集めて業者に売却し、その利益を「世界の子どもにワクチンを日本委員会」に寄附します。売却されたペットボトルのキャップは、文房具や生活用品などにリサイクルされます。



●ワクチン1本に換えるには

ペットボトルのキャップ430個（約1kg）で10円になります。

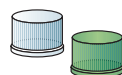
●ワクチンの単価（二人分概算）

- ポリオ（小児マヒ）… 20円
- はしか… 95円
- BCG（結核）… 7円

※ユニセフ・サプライバイジョンによる概算です

●回収するもの

飲料用のペットボトルのキャップ（PP・ポリプロピレン素材）



※しゅう油やソース、酒など飲料用以外のキャップは回収しません。

●回収場所

田原市役所、赤羽根市民センター、渥美支所、東部資源化センター、赤羽根環境センター、渥美資源化センター、各市民館

●キャップの出し方

- 1 キャップを水ですすいで乾かす。
- 2 キャンペーンシールや値札などをはがす。
- 3 エコキャップ回収箱に入れる。

現在、ペットボトルのキャップは、「プラスチック容器類」として分別回収していますが、ぜひエコキャップ運動にご協力ください。



▼清掃管理課

☎ 23局 3538 FAX 23局 0180

交 流 通 信

【国内外との交流・多文化共生】

「海と山のまち」交流スタンプラリーにご参加ください

田原市と姉妹都市 設楽町の交流スタンプラリーについてご紹介します。

昨年度に引き続き、今年度も交流スタンプラリーを開催します。応募用紙に指定のスタンプを押して応募すると、抽選で賞品が当たります。山のまち設楽町からの「水の恵み」を体感しながら、スタンプラリーに参加してみませんか。

※この事業は、豊川上下流域の相互理解を目的に両市町が共同で実施しています。

●開催期間(予定)

4月26日(金)～平成26年2月28日(金)

※応募はがき必着

●参加資格

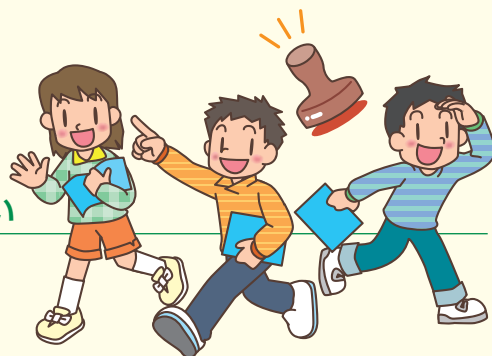
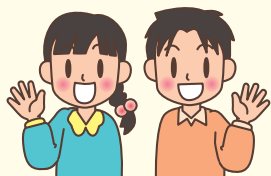
どなたでも

●応募方法

応募用紙に、指定の4つのエリアから各1つスタンプを

集め、必要事項を記入のうえ、直接または郵送にて

【Wチャンス】応募要件を満たし、田原市が設楽町内



に建設した交流拠点施設「グリーンメッセージ」に宿泊するとWチャンス特別賞へのエントリーができます。

●応募先

田原市役所政策推進課、設楽町役場企画課

●賞品

国内旅行券(1本)、Wチャンス特別賞(1本)、「道の駅・蔵王山展望台・サンテパルクたはら」協賛プレゼント(70本)、「海と山のまち」特産品ほか、計140本予定

●お問い合わせ

政策推進課 ☎23局3507

※詳しくは、各ラリースポットにある応募用紙をご覧ください。

●市内で応募用紙を配布しているラリースポット

「道の駅」田原めっくんはうす・あかばね口コステーション・伊良湖クリスタルボルト、サンテパルクたはら、蔵王山展望台

・被災地での情報収集と伝達

◆活動内容

5人を基本として構成されます。

医師、看護師、業務調整員など、

◆DMATのメンバー

をいいます。

概ね48時間以内に駆けつけ、救急治療を行うための専門的な訓練を受けた災害派遣医療チームの活動をいいます。

大地震や列車・航空機事故といった大規模災害により一度に多くの傷病者が発生したとき、現場に



字を取ったものです。

Medical Assistance Team の頭文

『DMAT』とは、Disaster

◆DMATⅡ災害派遣医療チーム

DMATについてご紹介します。

災害時のニュースなどで目にした方もいるかもしれません。今回は、

DMATについてご紹介します。

DMATについてご紹介します。

DMATについてご紹介します。

DMATについてご紹介します。

DMATについてご紹介します。

DMATについてご紹介します。

DMATについてご紹介します。

DMATについてご紹介します。

DMATについてご紹介します。

DMATについてご紹介します。

DMATについてご紹介します。

DMATについてご紹介します。

DMATについてご紹介します。

みんなできり組む防災・減災

DMATをご存じですか？

防災知恵袋

24



▼防災対策課 ☎23局3548

◆活動実績

東日本大震災では、震災当日の

3月11日から22日までの間に、約

340チーム、約1500人が被災地に派遣されました。

一人でも多くの命を助けるため

DMATの活動により、効率的

かつ効果的に処

置・治療を行う

ことが可能とな

り、より多くの

命を助けること

ができます。





募集

WANTED

まちの環境美化対策 アダプトプログラム(里親制度)



▲ロゴマーク

アダプトプログラム(里親制度)は、市民と市が協力し合い、市が管理する道路、公園、河川などの公共施設を市民がボランティアとなって管理する制度です。道路や公園、河川などを養子とみなし、親が子どもを大切にするように、清掃・美化などの活動をしていただきます。

※詳しくは、お問い合わせください。

●活動場所

市が管理する道路・公園・河川などの公共施設

●活動内容

ごみの収集、除草、樹木の管理、活動計画書・報告書の提出

●支援内容

環境美化に必要な物品(ごみ袋、軍手)の支給や貸し出し

希望者にはボランティアの名称を表

示するサイン看板の設置

活動時に事故が発生した場合の補償

その他活動に必要な事項

●対象者

市内に在住・在勤・在学する個人・事業者・団体

●申し込み

所定の申し込み用紙に必要事項を記入のうえ、維持管理課へ直接(申し込み用紙は維持管理課で配布するほか市ホームページからもダウンロード可)

●その他

申し込み後に、市と協議して「合意書」を交わします。

▼維持管理課

23局 4103 FAX 23局 0180

✉ ijkanni@city.tahara.aichi.jp

http://www.city.tahara.aichi.jp/

流域モニタリング

一斉調査参加者

▼対象 市内の2名以上で構成するグループ(中学生以下の子どもを含む場合は保護者同伴) ▼調査期間 6月5日(環境の日)の前後1週間 ※この期間内に、調査ができない場合は時期をずらして調査することも可能。

▼内容 身近な水辺(河川・湖沼・海・水路・ため池など)で水質、水量、生態系などを調べて調査結果を報告

▼参加料 無料

▼申し込み 5月15日(水)までに環境衛生課の窓口にある参加申込書に必要事項を記入のうえ提出

▼環境衛生課

23局 3541 FAX 23局 0180

春の汐川干潟自然観察会

豊橋市と共同で、野鳥や干潟の生き物の観察会を開催します。

▼対象 どのような年齢でも(中学生以下は保護者同伴) ▼日時 5月26日(日) 午前10時30分～午後0時30分 ※雨天中止 ▼場所 汐川干潟(豊橋市杉山町) ▼定員 50名(先着順)

▼参加料 無料 ▼持ち物 長靴、スコップ、タオル、帽子、飲み物、

筆記用具 ▼申し込み 5月14日(火)までに、電話またはFAX・Eメール・はがきにて(FAX・Eメール・はがきの場合は、代表者の郵便番号・住所・電話番号と参加者全員の氏名・年齢を明記)

▼豊橋市環境保全課

(〒440-8501 住所不要)

☎ (0532) 51局 2385

FAX (0532) 56局 5577

✉ kankyohozen@city.toyohashi.jp

長野県宮田村 りんごの木オーナー

平成11年に田原市と友好提携を結んだ宮田村では、交流事業の一環として、JA上伊那宮田支所が「りんごの木オーナー」を募集します。

甘い蜜の入った「サンふじ」を収穫してみませんか。

♥ サンふじA / 価格 2万5000円(税込み) / 数量 180個保証

♥ サンふじB / 価格 3万8500円(税込み) / 数量 300個保証

♥ サンふじC / 価格 1万5000円(税込み) / 数量 100個保証

▼申し込み 5月5日(日)までに電話にて

▼JA上伊那宮田支所営農経済課

☎ (0265) 84局 1201

豊橋田原食育体験講座「地産地消のランチセミナー」参加者

「ホテルで味わう豊橋・田原の旬」農業王国豊橋・田原で生産される旬の特選素材をいかした特別ランチメニューを、シェフや生産者の方からお話を伺いながら楽しんでいただきます。



▲酒井淳さん

▼日時 5月15日（水） 正午～午後2時
▼場所 ホテルアークリック シュ豊橋 ▼講師 酒井淳さん（ホテル総料理長）、地元のプロ農家ほか
▼定員 25名（申込者多数の場合合は抽選） ▼参加料 3500円（食事代） ▼申し込み 4月30日（火）までにFAX・Eメールはがきにて（参加者全員の住所・氏名・年齢・電話番号を明記）
▼豊橋田原広域農業推進会議事務局（〒440-8501 住所不要）
豊橋市農業企画課内）
☎（0532）51局2464
FAX（0532）56局5130
✉ info_nosei@city.toyohashi.lg.jp
🌐 http://www.toyohashi-tahara.jp/

市民カレッジ 受講者

誰でも気軽に参加できる教室です。ので、ぜひご参加ください。

▼教室名（対象）／日時／内容／定員／受講料 表のとおり ▼場所 ①③は田原福祉センター、②は田原文化会館 ▼申し込み 電話または

市民カレッジ 教室一覧

教室名（対象）	日時	内容	定員	受講料
①自分を癒す～楽しく～ アロマカルチャー講座（中学生以上）	5～9月 毎月第3火曜日 10:00～11:30 5～9月 毎月第4木曜日 19:00～20:30	アロマの楽しい使い方を学ぶ	各15組	各1000円（材料費別）
②フォークギター弾き語りにチャレンジ（中学生以上）	5/15～7/17の第1・3水曜日 19:30～21:00 5/16、5/30、6/6、6/20、7/4 14:30～16:00	簡単なコードで弾き語りを学ぶ 弾き語りの第一歩	各15名	各1000円
③終活セミナー お葬式の知識（中学生以上）	5/21、6/4、6/18、7/2、7/16 10:30～11:30	お葬式のマナー、お葬式の費用、家族葬、エンディングノート、相続	50名	無料

生活

FAX・Eメールはがきにて（FAX・Eメールはがきの場合は参加者全員）の住所・氏名・年齢・電話番号を明記 ※定員になり次第締め切り ▼その他 ③は希望日だけの参加も可能です。
▼生涯学習課
☎ 23局3531 FAX 22局3811
✉ syogaku@city.tahara.aich.jp



予防接種法が改正されました

●日本脳炎予防接種の対象が拡大



▼対象 平成7年4月2日から平成19年4月1日までの間に生まれた方で、日本脳炎1期・2期を終えていない方（平成17年度から21年度の間に、日本脳炎予防接種を受けられなかった方）
●子宮頸がん予防、ヒブ、小児用肺炎球菌ワクチンが定期接種へ

縦覧

INSPECTION FOR PUBLIC
▼対象者 子宮頸がん予防…中学1年生～高校1年生相当の年齢の女子／ヒブ・小児用肺炎球菌…生後2カ月～5歳未満
●BCG予防接種の対象が拡大
▼対象 1歳未満
※予診票のない方で、接種を希望される方はお申し込みください。
▼健康課 ☎ 23局3515
▼健康課（あつみライフランド内）
☎ 33局0386

公共下水道事業計画変更案

田原処理区 主要な管渠の変更

田原市住民および利害関係者は、縦覧期間内に限り市長に意見を提出できます。
▼縦覧時間 5月15日（水）～29日（水）／土・日曜日は除く市役所執務時間中 ▼縦覧場所 下水道課（市役所北庁舎2階）
▼下水道課
☎ 23局3525 FAX 22局3184



歴史探訪

クラブ

History Inquiry Club

其の
145



文化財課 ☎23局 3635
FAX 22局 3811

「伊良湖白」の貝

渥美半島の産物のひとつに「伊良湖白」という碁石があったことを、歴史探訪クラブ其の80と134で少し触れました。

松尾芭蕉の『笈の小文』の中に、「保美村より伊良古崎へ壺里計も有べし。(中略)此洲崎にて碁石を拾ふ。世にいらご白といふとかや」と書かれ、『三河国名所図絵』にも「表浜のチョウセンハマグリは白い碁石に使用され、伊良湖白と呼ばれ、那智黒と並び称された」と書かれています。

す。しかし、情報が少ないため、本当にそのような産物があったのかという疑問がありました。

平成23年、福江町市街地にある江戸時代からの大きな商家跡地の遺跡(弥生・古墳時代)を発掘調査しました。調査前には、壊れた茶碗のかけらや生活の道具とともに、チョウセンハマグリのかげらがたくさん落ちていました。つるつるになったものもあるので、海岸で拾ってきたものだとすぐわかりました。このような貝の破片は、渥美半島の縄文時代の貝塚からたくさん見つかります。このチョウセンハマグリの貝片は、使い方が分からない縄文時代の道具



▲福江町の商家跡地で見つかったチョウセンハマグリのかけら

として知られていますので、新発見の遺跡があるのではと小躍りしました。しかし、貝は新しいもので、この家の住人が趣味で集めていたものかと、深くは考えませんでした。

話は変わり、昨年末、赤羽根町の方と昔のことを雑談していた際に、「伊良湖白」のことを話すと、次のような話をしてくれました。

その方のお父さんは、チョウセンハマグリの割れた殻を集めて売っていました。海岸がやせてその貝殻を見なくなり、売るほどなくなっていました。すなわち、戦前・戦後までは、商品として流通していたようです。残念ながら詳しいことは分からず、まだ調査不足ですが、福江町の商家跡でたくさん見つかった貝は、もしかしたら売るために拾ってきたものかもしれません。

チョウセンハマグリは、分厚く、白色も美しいことから碁石として選ばれたのですが、なぜ伊良湖のものなのかという疑問があります。その貝がたくさん採れたことはもちろんのこと、白石と対となる黒石の那智黒が熊野信仰の本拠地で採れたことも関係があるのかもしれませんが。熊

野信仰とのつながりがある渥美半島の海で洗われ清らかになった石は、碁石としてだけでなく、那智黒とともに別の付加価値があったからこそ「伊良湖白」が選ばれたのかもしれません。

しかし、今では採れなくなった理由が、打ち上がる浜がなくなっただけでなく、環境悪化でチョウセンハマグリ自体がいなくなったとすると、それは悲しいことです。

(増山)



●表浜に散らばる貝殻

今月の「表紙」

▼桜舞い散る季節。この号を最後に、5年間の広報編集から離れます。「表紙が楽しみ」の声に励まされ、気合いを入れて撮影していた表紙写真。皆さまのお陰で、平成24年度県広報コンクールで特選を受賞できました。広報を通して知り合った方々は、何よりも「宝物」です。ありがたうございました。(OH)

【表紙の写真】河津桜と菜の花

広報 **Tahara** たはら

編集・発行／田原市役所政策推進部広報秘書課
電話／0531-22-1111 (代表)
Eメール／koho@city.tahara.aichi.jp

No.736 平成25年4月15日号

本誌は再生紙を使用しています。

平成25年4月15日 広報 **Tahara** たはら | 12 |